



2016-2017年度

RI会長 ジョン F. ジャーム

RIテーマ ROTARY SERVING HUMANITY

会長●神山 智子 幹事●山内 一晃 SAA●平野 榮子

国際ロータリー第2830地区

八戸北ロータリークラブ

会報

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6

八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

http://www.8kitarc.com/

例会日: 毎週火曜日 12:30開会

10月 経済と地域社会の発展月間 (米山月間)

vol. 13

第 2243 回例会

2016.10.11

司会: 小林弘文副SAA

- ・ RIテーマ
- 点鐘
- ・ ロータリーソング
- ・ クラブソング
- ・ 四つのテスト

ゲストの紹介

青森RC 工藤 真人様

ビジターの紹介

八戸西RC 木村 幸吉君

会長要件

神山智子会長

この4、5日ぐっと寒くなって、朝晩は暖房を入れたくなる気候となってまいりました。皆様体調管理にお気を付けながら今月も元気にお過ごし頂ければと思います。今月10月は「経済と地域社会の発展月間」と「米山月間」ということです。ガバナー月信から長嶺ガバナーの文章を抜粋させていただきます。

「2014年10月RI理事会で重点分野である『経済と地域社会の発展月間』である10月を貧困地域の経済発展を目的とした起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間とした。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をする。そのために米山奨学生や地区役員、委員の卓話を聞き、更に奨学生から提供される資料を基にクラブフォーラムを開催したりする事が推奨されている。」本日は青森RCから工藤真人様にお越し頂き詳しく米山の事についてお話を伺うんですけども、この米山梅吉さんは奨学生の事だけでなく、晩年、ハンセン病、結核、がん研究の助成など、多くの社会事業、医療事業にも奉仕したということも掲載されております。その中に青森のハンセン病施設の松丘保養園もあります。そこに青森RCさんをご支援されているという新聞記事を拝見しました。もし機会があれば一度この事業に参加させて頂ければと思っております。

幹事報告

山内一晃幹事

◎今日は特にありません。

親睦委員会報告

大石 源会員

ニコニコBOX

八戸北RC

山内一晃幹事: 工藤様、今日はよろしくお願ひ致します。

米山記念奨学金

神山智子会長: 工藤様、本日は米山のお話よろしくお願ひ致します。

平野 薫会員:

小林弘文会員:

源新和彦会員:

千葉清彦会員:

源新育子会員:

奥寺良之会員:

小金平育男会員:

平野榮子会員: 工藤様よろしくお願ひ致します。

大石 源会員:

ポリオ・プラス

源新和彦会員:

出席報告

本日の出席率 74.29%

前々回(9/27)の修正出席率 77.14%

外部卓話 (米山記念奨学会)

米山記念奨学委員長 工藤真人様



日頃は米山の事業に関しまして皆様に多大なるご協力を頂きありがとうございます。今日はパワーポイントに添って説明したいと思しますのでよろしくお願ひ致します。

「ロータリー米山記念奨学事業」

米山梅吉氏が作った奨学財団と勘違いされておりますけれども、実は米山梅吉氏が亡くなった後に米山梅吉の遺志を継いで東京RCが始めたもので、1967年に財団法人が設立し来年で50周年になります。日本最大級の事業規模で、累計は約2万人、2016年度は750名の奨学生を日本中でお世話しております。内訳は中

国・韓国・ベトナムと中国の留学生が多い現状でございます。当地区の2016学年度は8人、一人9月に卒業し現在は7名をお世話しています。国は中国・韓国・マレーシア・タイ・ベトナムと少ない人数なんですけれども比較的バラエティーに富んでいると思っております。

「奨学生はどのように選ばれていますか？」

まず当地区で指定校を選びます。指定校というのは私費で留学してきている学生がいる学校です。毎年春先に青森県内にある大学に留学生はいますか？とお聞きしまして指定校にしています。その指定した学校から候補者が選抜されて米山の本部に推薦されます。毎年12月末に面接選考をしています。面接の試験官はガバナー及びパストガバナー、委員長、私の大体5人で面接試験をしています。最近では面接試験の他にグループディスカッションとして一つのテーマを学生に与えてそれに関して討論をさせて、それを試験官である我々が見てそれで点数を付けて決めています。最近の選ぶ基準は、昔はお金に困っている苦学生を支援してきたんですが、今日本に来ている学生は比較的裕福な学生が多いのですがそれでも仕送りだけではなかなか難しいという学生もいますので、要は成績が優秀で将来日本と母国の架け橋になるような学生を選んでいくつもりです。

「どんな成果が出ていますか？」

韓国大使など立派な人々がいます。青森の学友で今一番優秀な学生はベトナムの女の子で三井住友銀行に入学しまして、その三井住友銀行の社内試験で日本で五番目に入って将来幹部候補生だという方です。ベトナムの学生で今大学の先生をやっている生徒もいます。どんどん増える学友会ということで、台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ。学友会というのは米山奨学生を卒業した生徒、日本でも国内33か所、青森にもございます。当地区の学友会の活動は、松丘保養園に米山梅吉が多大なる寄付をして貢献したということで青森RCを中心に米山梅吉の記念花壇を作ろうということで、毎年花壇を整備したり木を植えたりする活動をしています。当地区の学友会は元青森北東ロータリーの奨学生でグエン・チ・ギアさんというベトナム出身の学生だった方が会長をしています。現在は青森中央学院大学の准教授をしています。

「寄付はきちんと使われていますか？」

皆様から頂いたご寄付は全て奨学事業に使っています。本部の管理費も利子で賄っております。3年連続黒字決算ということで今年まで750人だった学生がおそらく800人になると思います。2830地区の寄付実績は一人当たりの平均寄付額は10,721円で全国第30位でございます。普通寄付金が2,487円、特別寄付金が7,685円、特別寄付金の寄付者の割合が42.8%、法人の寄付の数が1ということで、全国平均から見るとまだまだ低いんですけれども、法人の寄付の数が全く低いのでこの辺をまた、法人で寄付をされる場合も税制の措置がありますのでよろしく願いいたします。この辺は寄付の税制の優遇の話でございます。寄付が増えればより多くの奨学生を採用できるということで昨年から当地区の目標額は2万円ということで皆様をお願いしております。2万円を達成出来ると恐らく15名くらいの奨学生を採用できると思います。奨学生と縁のないクラブにも奨学生を派遣できると思っています。

2017年は財団設立50周年ということでございます。

以上パワーポイントはこれで終了となりますが、次に寄付金の納入明細表をご覧ください。一番初めが当地区の各RCの鈴木年度の寄付金の明細表でございます。八戸北RC様は一人当たりが18,583円ということで非常に貢献して頂きまして本当にありがとうございます。当地区で個人の平均額が高かったのは青森東RC様で49,178円、これは退会された方が大口の寄付をされたという事を聞いておりますので高くなったと思います。いずれにしてもまだ個人の寄付平均が2,000円の所も数多いものですから一層のご協力をお願いしたいと思います。ちなみに三枚目は地区の明細で、1位が愛知県2760地区、個人平均寄付額が44,399円ということで、これはカラクリがあるそうで個人の寄付率が31.3%なんです。法人の寄付が191社ということでこれに1社1億寄付している法人もあると聞いておまして、こういう結果になっていると思います。なので2番目の2590地区の神奈川県横浜市、川崎市の個人寄付率を見ますと80.7%で法人ではなく個人が80.7%というのは非常に正常なのかなと思っております。この青森に関しては30位ということで皆様のご協力によって、大体秋田、北海道東部とビリを争っていたんですが、お陰様で1万円を超えたということでございます。

次のページに寄付金の過去からの累積の表がございます。当然会員数が多いクラブには当クラブはトータルでは負けてしまうのですが、個人の平均寄付額ではもう少し上に行きたいなと思っておりますので、なお一層の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

それから米山梅吉は青森県と非常に縁がございまして、松丘保養園の他に平内に多大なる貢献をしまして、まだ三井報恩会という会があった時に平内で飢饉があった際、三井報恩会で米山梅吉さんが平内地区に確か平内の予算の倍くらいの金額を寄付して飢饉から平内を救ったということで、平内には米山梅吉の記念碑が立っています。もしご興味があれば米山梅吉と青森県という本もございましてご覧頂ければ青森県と米山梅吉の縁が非常に分かると思います。

また松丘保養園なんですけれども、青森RCで支援するきっかけは北山パストガバナーでございます。先日、青森RCでは「ピーマンのつぶやき」という、松丘保養園に入っている患者さんが書いた文章をRABの大友さんが朗読しているDVDを作りまして、米山梅吉記念館にお送りしたら米山梅吉記念館の方で興味を示されて取材に来ました。我々も一緒に松丘保養園に取材に行きまして、そこで「ピーマンのつぶやき」という本を書いた86歳くらいの患者さんともインタビューをして、松丘保養園の図書館を探したら米山梅吉が来た時にみんなで撮った記念写真も見つかりまして、記念館の方は非常に喜んで帰りました。

いずれにしてもそういった米山梅吉の遺志を継いだ米山記念奨学事業でございますので今後共皆様のご協力をよろしく願いいたします。それから来週は米山奨学生が卓話に来る予定です。タイ出身の女の子で非常に元気のいい子ですので楽しみにして下さい。本日はありがとうございました。

点鐘